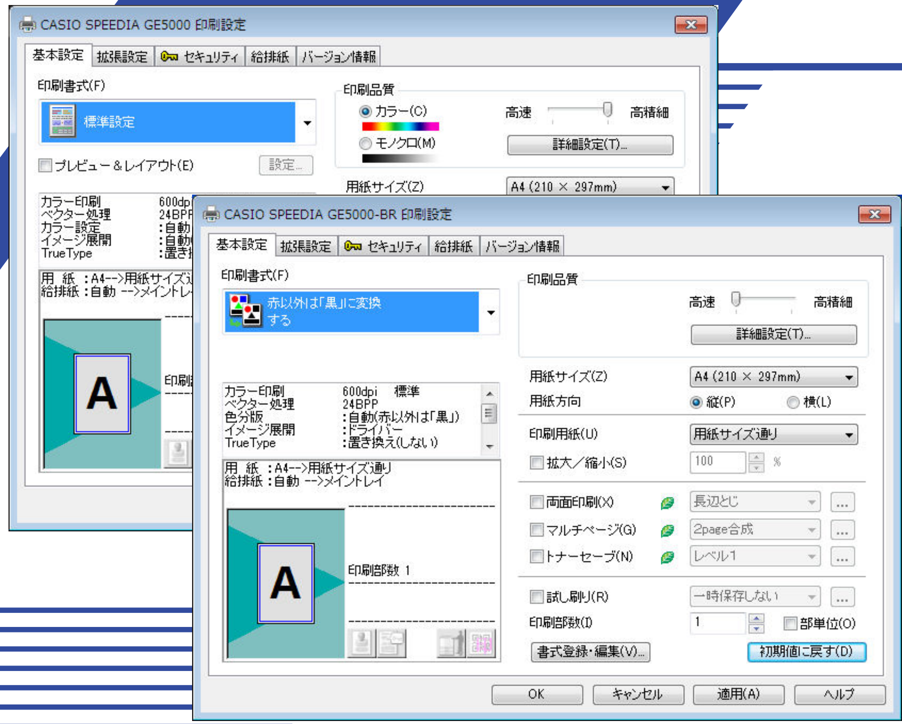
SPEEDIA GE5000シリーズ

ユーザーズマニュアル
プリンタードライバー編

プリンタードライバーの各種機能の説明と設定方法について
記載されています



T-984P-6B
MA1406-C　2015年6月15日　第3版発行

CASIO

目次

1.Windows プリンタードライバーについて

ここでは、Windows 環境で本プリンターをご使用いただくために必要なプリンタードライバーについて説明します。

■プリンタードライバーとは

プリンターを制御するためのソフトウェアです。プリンタードライバーは、アプリケーションからの印刷命令をプリンター固有の制御コマンドに変換してプリンターに送ります。
Windows 環境での印刷には、プリンタードライバーが必要です。

■プリンターに添付されている専用プリンタードライバーを使用するメリット

- プリンターに最適な制御コマンドを高速に生成して印刷します。
- プリンターの能力を最大限に発揮する多彩な機能を使うことができます。

■ GE5000-BR 用プリンタードライバーの特徴

- フルカラーで作成した印刷データを、B（ブラック：黒）と R（レッド：赤）に分版して印刷します。
- プリンタードライバーの設定で黒と赤への分版方法を変え、目的に合った印刷ができます。

■プリンタードライバーを使用する際の注意事項

- プリンタードライバーには多種多様の設定があり、設定の違いにより印刷速度や印刷結果が異なる場合があります。
- アプリケーションや印刷内容により最適な設定は異なりますので、各設定の特徴をご理解の上、最適な設定でご使用ください。

■対応 OS

対応する Windows は下表の通りです。Windows プリンタードライバーは、各 Windows 専用のものをご利用ください。使用する OS 環境により、プリンタードライバーの利用できる機能が異なる場合があります。

対応 OS（Windows operating system）	略称	対応プリンタードライバー
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版	Windows XP	Windows XP/Server 20xx/Vista/7/8/8.1 対応プリンタードライバー
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版	Windows Vista	
Microsoft® Windows®7 Operating System 日本語版	Windows 7	
Microsoft® Windows®8 Operating System 日本語版	Windows 8	
Microsoft® Windows®8.1 Operating System 日本語版	Windows 8.1	
Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版	Windows Server 2003	
Microsoft® Windows Server® 2008 日本語版	Windows Server 2008	
Microsoft® Windows Server® 2012 日本語版	Windows Server 2012	

※本書では、OS の表記について上記略称のように省略して記載する場合があります。
また、併記する場合は「Windows XP/Server 20xx/Vista/7/8/8.1」のように「Windows」を省略したり「Windows Server 2003」「Windows Server 2008」「Windows Server 2012」を合わせて、「Server 20xx」と表記する場合があります。
※USB を使用できる環境は、対応 OS がプレインストールされたコンピューターまたはクリーンインストールされたコンピューターに限ります。
アップグレードした OS 環境では正しく動作しない場合があります。（サポート対象外です。）
※標準でインストールされるプリンタードライバーは、日本語環境専用です。その他の言語の Windows には対応しておりません。
※英語環境対応のプリンタードライバーについての情報はホームページ **http://casio.jp/ppr/** をご覧ください。
※ホームページ **http://casio.jp/ppr/** にて随時、最新版の提供を行っています。
※総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。

注 意

- 本マニュアルに記載されていない最新の情報が、ヘルプまたはテキストファイルに記載されていることがあります。また、Windows 特有の制限・注意事項などに関するドキュメントファイルが Windows に添付されています。本マニュアルと合わせて必ずご覧ください。
- Windows に関する操作や概要については、Windows に付属のマニュアルなどをご覧ください。
- 印刷方法については、印刷を実行する各アプリケーションのマニュアルなどをご覧ください。
- 本マニュアルに記載されているプリンタードライバーの機能、操作方法、画面デザインは、機能拡張や改良のため予告なく改変されることがあります。
- 本マニュアルに掲載の Windows 画面表示は、特に指定がない限り Windows 7 環境の GE5000 画面を例に説明しています。
- モデル毎の専用機能については GE5000 のみの機能は（GE5000）、GE5000-BR のみの機能は（GE5000-BR）のように記載します。
- SPEEDIA はカシオ計算機株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載された会社名および製品名などは、該当する各社の登録商標または商標です。

  ※本書中またはソフトウェア上の記載には、必ずしも商標表示（®、TM マーク）を付記していません。

2. プリンタードライバーのセットアップ

本プリンターを Windows 環境でご使用いただくには、プリンタードライバーのセットアップが必要です。CD-ROM からセットアップウィザードを使用してセットアップを行ってください。

ポイント　モデルにより、CD-ROM のスタートアップメニューのデザインが異なりますが操作方法は同様です。

☞ ユーザーズマニュアル セットアップ編

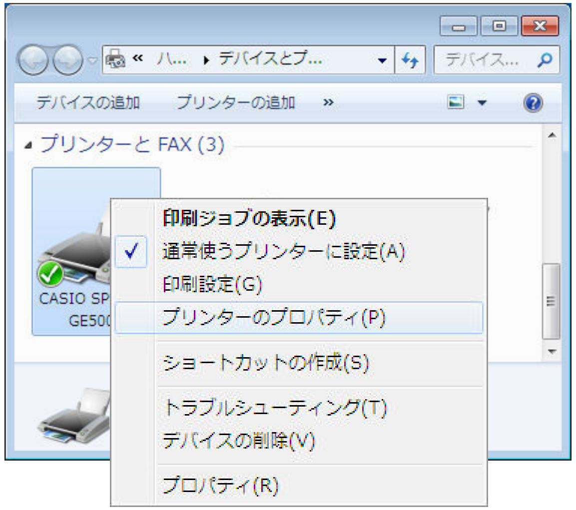
※プリンタードライバーのインストールおよび設定を行うためそれぞれのアクセス権が必要です。アクセス権については、コンピューターの管理者に確認してください。

※Windows 標準の「プリンターの追加」では、プリンタードライバー以外のユーティリティがインストールされません。プリンタードライバー以外のユーティリティをインストールしないと、プリンタードライバーの一部の機能が制限されるなどプリンターの機能を最大限に活用できなくなりますので、セットアップウィザードを使用してインストールすることをお勧めします。

3. プリンタードライバーの環境設定

プリンタードライバーのセットアップが完了したら、プリンタードライバーの環境設定を行います。

3.1 環境設定



環境設定は、「プリンター」フォルダーで設定するプリンターを選択し、「プリンターのプロパティ」を開いて「環境設定」タブで行います。各 Windows での「プリンター」フォルダーの開き方は次の通りです。

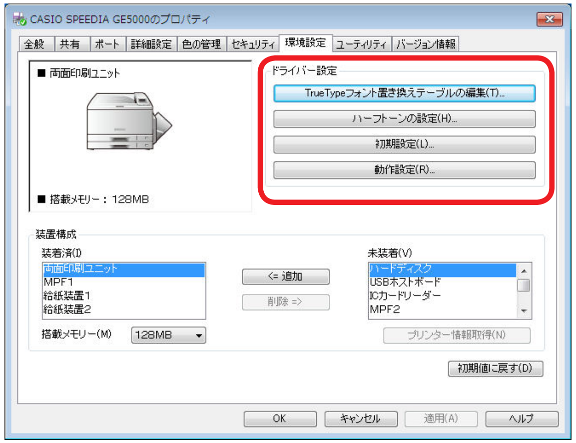
Windows XP/Server 2003
「スタート」メニューの「プリンタと FAX」をクリック。

Windows Vista/Server 2008
「スタート」メニューから「コントロールパネル」を開き「プリンタ」をダブルクリック。

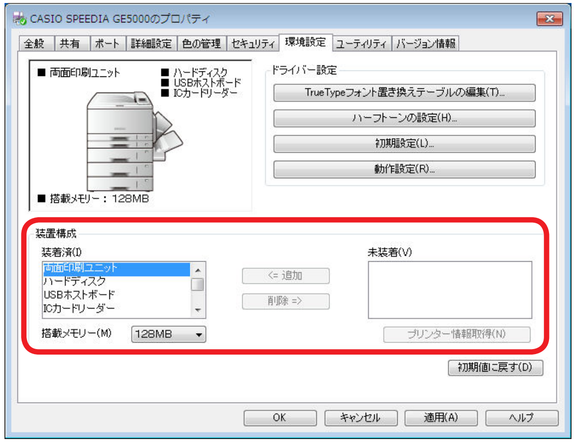
Windows 7/Server 2012
「スタート」メニューの「デバイスとプリンター」をクリック。

Windows 8/8.1
チャームバーで「設定」を選択し、「コントロールパネル」を開き「デバイスとプリンターの表示」をクリック。

※「環境設定」は、アプリケーションから開くプリンター設定（プロパティ）からは設定できません。



1. ドライバー設定
通常は設定を変更する必要はありません。



2. 装置構成－搭載メモリー

プリンターに装着しているメモリー容量を設定します。

3. 装置構成－プリンター情報取得

プリンター装置構成の設定が自動で適切な内容に設定されます。使用できない場合はボタンがグレー表示になります。この場合は、接続されているプリンターの構成に合わせて、手動（「追加」／「削除」ボタンをクリック）して装置構成を設定します。

※LAN 接続の場合、TCP/IP プロトコルにて検出可能になります。（「LPQ 経由の情報取得」が「しない」の場合は、SPEEDIA マネージャーをインストールすると検出可能になります。）

※接続環境（USB ハブとの相性、ケーブルが長すぎる、Windows 側の状態など様々な要因があります。）により自動検出できない場合があります。この場合ボタンはグレー表示になります。

注 意 「プリンター情報取得」を使うには、「プリンター」フォルダーのメニューから「プリンターのプロパティ」をクリックして「ポート」タブを開き、「双方向サポートを有効にする」をチェックしてください。

4. 装置構成－追加／削除

装置構成を手動で設定します。追加／削除する装置を選んでボタンをクリックします。選択した装置がリストを移動します。（プリンター構成の図も変更されます。）

※装置構成を正しく設定しないとプリンタードライバーの機能が制限されたり、正しい印刷結果が得られなくなる場合があります。

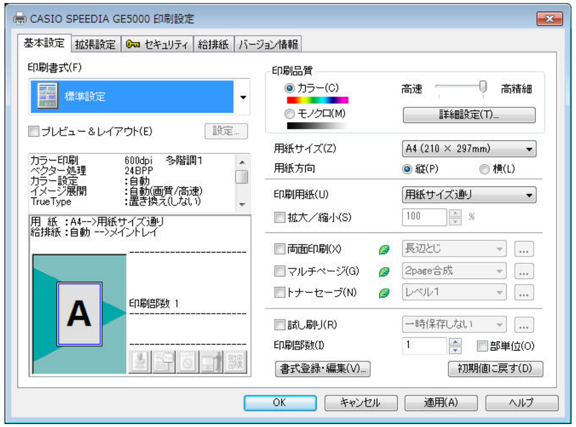
※プリンター機種により装着できるオプション装置が異なります。

※装置構成はプリンタードライバーのインストール時に自動で設定されますが、プリンターの電源スイッチが ON になっていない場合や接続状況によっては自動で設定されない場合があります。プリンター使用前に必ず確認してください。

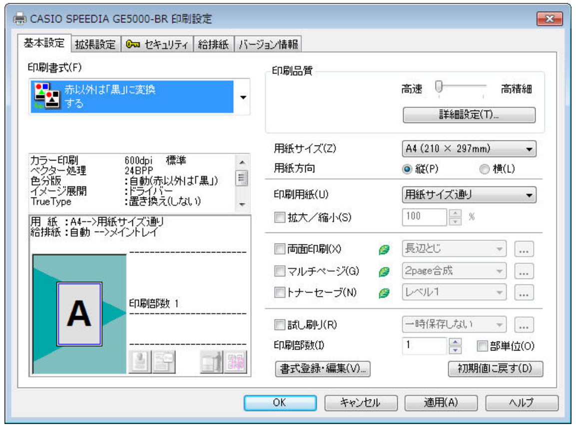
4. プリンタードライバーの設定

設定項目について説明します。詳細はプリンタードライバーのヘルプをご覧ください。
※「ヘルプ」…………………プリンタードライバーの印刷設定画面の右下の「ヘルプ」ボタンをクリックすると表示します。また、知りたい設定項目にマウスカーソルを合わせて右クリックすると、その設定に関する説明を表示します。

4.1　基本設定



GE5000



GE5000-BR

1. 印刷書式

一般によく使われる印刷目的や内容に合わせて設定をあらかじめ登録してあります。目的に合わせて選択してください。

※書式を選択すると、背景がカラーで塗りつぶされた通常の選択状態となりますが、書式に含まれる設定を変更すると選択状態がモノクロ塗りつぶしや枠線のみの表示に変わり、設定の変更がわかるようになっています。

※「書式登録･編集」ボタンで、任意の設定をユーザー書式として登録することもできます。

2. 印刷品質－カラー／モノクロ（GE5000）

通常は「カラー」が設定されています。カラー原稿をモノクロで印刷する場合は「モノクロ」を選択します。

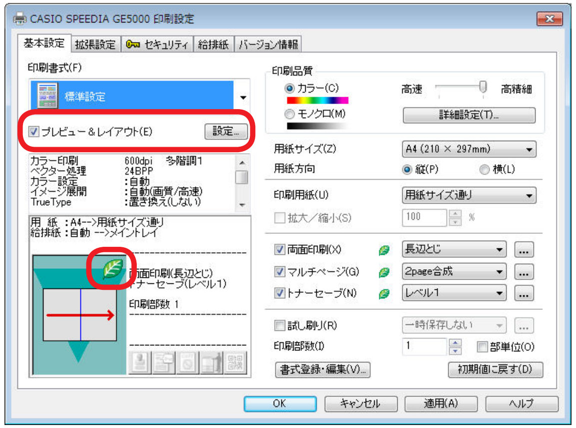
3. 印刷品質－スライドバー（高速／高精細）

標準書式にはそれぞれ「高速」と「高精細」の 2 つの設定があります。用途に応じてスライドバーの設定を変更します。

4. 印刷品質－詳細設定

印刷品質の詳細を任意に設定することができます。詳細は下記を参照してください。

☞ **4.5 基本設定－詳細設定－印刷モード（18 ページ）**



5. プレビュー＆レイアウト（GE5000）

印刷前に、結果を確認する場合に設定します。

※プレビュー画面から「編集」機能を使用して、印刷データを再構成（ページの入れ替え、追加など）して印刷することができます。詳細は下記を参照してください。

5.5 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト：REPORT HOLDER 印刷）（GE5000）（34 ページ）

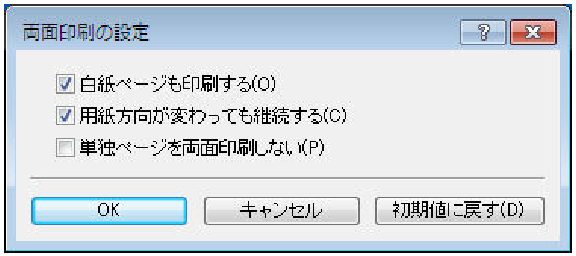
※この機能を使うには「REPORT HOLDER for SPEEDIA」が必要です。プリンタードライバーを単独でインストールした場合は「REPORT HOLDER for SPEEDIA」をインストールしてください。CD-ROM から「標準」セットアップした場合はインストール済みです。

6. 用紙サイズ／用紙方向／印刷用紙

用紙サイズと用紙方向は、アプリケーション側で指定した用紙サイズと方向で自動的に設定されますので設定の必要はありません。ただし、設定した印刷用紙に合わせて拡大／縮小印刷する場合は、用紙サイズ、用紙方向を合わせて設定する必要があります。

7. 拡大／縮小

任意の大きさに拡大／縮小して印刷します。印刷用紙を変更すると用紙サイズに対する拡大／縮小率が計算されてここにセットされます。



8. 両面印刷

両面印刷を行う場合に設定します。とじる位置をリストから選択します。リストの右側のボタンをクリックすると両面印刷の設定ダイアログボックスが表示されます。

…… エコロジー関連機能（エコ設定）に付くマークです。

…… エコ設定が一つでも有効になると、用紙イメージ右上に表示されます。

※エコ設定を有効に利用して環境に配慮した印刷を行いましょう。



9. マルチページ

数ページ分を 1 枚の用紙に印刷（合成印刷）したり、1 ページを大きく拡大して数枚の用紙に分けて印刷（分割印刷）する機能などを設定します。詳細は下記を参照してください。

5.2 複数のページを 1 枚の用紙にまとめて印刷する（マルチページ「合成」印刷）（31 ページ）

5.3 模造紙大まで拡大して印刷する（マルチページ「分割」印刷）（32 ページ）

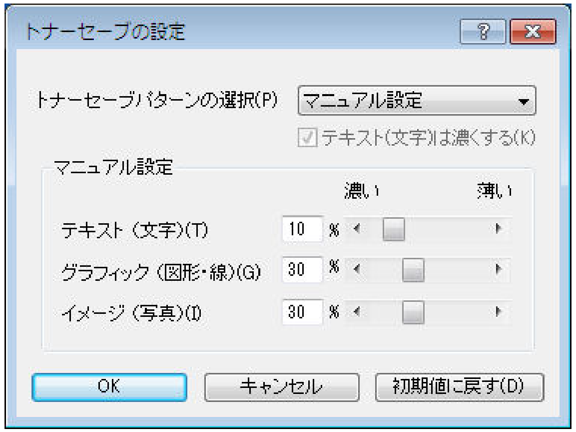
10. トナーセーブ

印刷濃度を全体に下げ、トナーの消費を抑えて印刷します。トナーセーブパターンをリストから選択します。リストの右側のボタンをクリックするとトナーセーブの設定ダイアログボックスが表示されます。ここでは、テキスト（文字）だけを濃くする設定の有無やオブジェクトごとのトナー節約量の設定ができます。

※トナー節約量（%）は、ソフトウェア処理上の目安です。実際の節約量は様々な条件によって異なります。

※グラフィック（図形・線）とイメージ（写真）を異なるトナー節約量に設定すると、図形の一部が黒くなるなど期待した結果が得られないことあります。その場合は節約量を同一に設定してください。

※アプリケーションによっては、文字をグラフィックで描画したり図形をイメージで描画することがあり、設定通りのトナーセーブ結果が得られないことがあります。



11. 試し刷り

試し刷り印刷を行う場合に設定します。

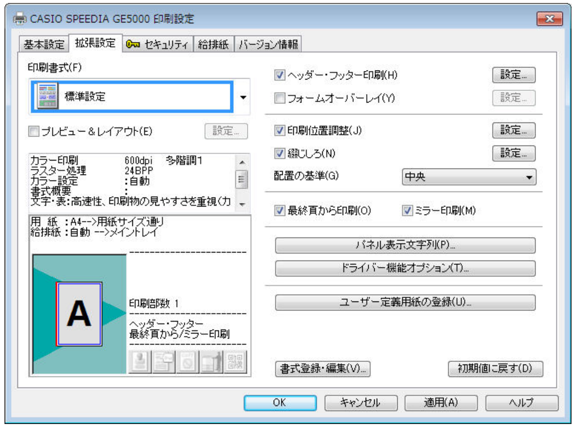
12. 印刷部数／部単位

印刷する部数を設定します。部単位でソートして印刷する場合は「部単位」を選択します。

※プリンターにハードディスクを装着すると高速な部単位印刷が可能です。詳細は下記を参照してください。

5.1 複数部数の印刷を部単位ごとにソートして印刷する（部単位印刷）（30 ページ）

4.2　拡張設定



1. ヘッダー・フッター印刷

ヘッダー・フッター印刷を設定します。ユーザー名やドキュメント名、日付と時刻、任意の文字列をヘッダー・フッターとして印刷することができます。

2. フォームオーバーレイ

フォームオーバーレイ印刷を行う場合に設定します。印刷データをフォームファイルとして保存することもできます。

3. 印刷位置調整

印刷位置の微調整が 0.1mm 単位で設定できます。

4. 綴じしろ

綴じしろとして用紙の片側に余白を取って印刷する場合に設定します。「綴じしろの設定」ダイアログボックスで、綴じしろの位置や量を設定できます。また、綴じしろの分だけ自動的に縮小する機能も選択できます。

5. 配置の基準

拡大／縮小や、マルチページ「合成」の印刷で、印刷する用紙の大きさと印刷データの大きさが異なる場合に基準となる位置を設定します。

6. 最終頁から印刷

通常とは逆の最終ページから印刷します。

7. ミラー印刷

全体を用紙の裏から見たように反転して印刷します。

8. パネル表示文字列

ジョブ表示／選択する際のユーザー名や、印刷中／ジョブ登録中に表示する情報を設定します。

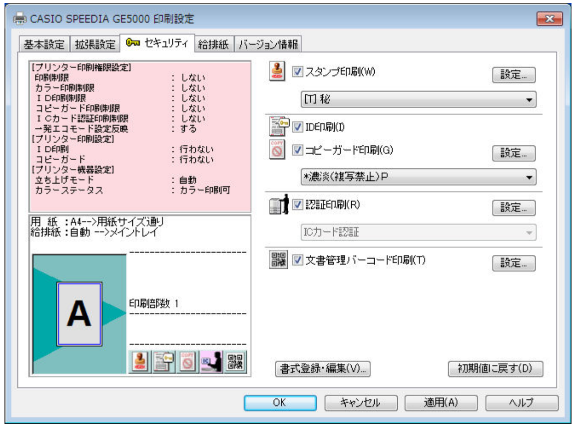
9. ドライバー機能オプション

スプールファイル生成時のドライバー機能に関するオプションを設定します。

10. ユーザー定義用紙の登録

任意の大きさの用紙サイズを登録します。

4.3　セキュリティ



GE5000

1. スタンプ印刷

スタンプ印刷を行う場合に設定します。任意の文字列やビットマップを、スタンプのように印刷データに重ねて印刷することができます。

2. ID 印刷

ID 印刷を行う場合に設定します。各ページ上下左右の余白部分に ID（ログオンユーザー名、コンピューター名、印刷時刻、プリンターシリアル No.）を印字することができます。

※余白部分（印字領域外）に印字しますので、印字データと干渉することはありません。ただし、プリンター側の設定（印刷設定－付加情報印刷－印刷位置）によっては重なり合う場合があります。

3. コピーガード印刷（GE5000）

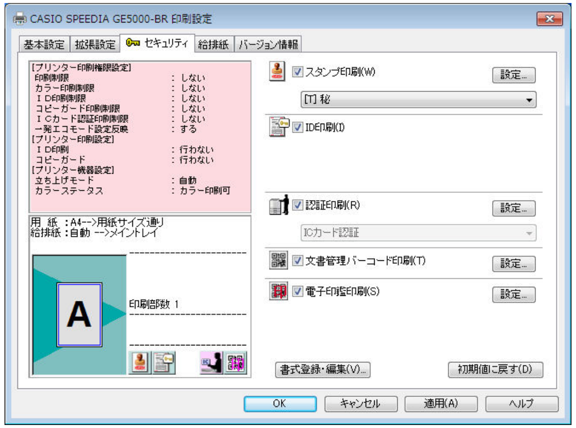
コピーガード印刷時に設定します。コピーガード印刷を選択して印刷すると、印刷物をコピーしたときに文字が浮かびあがる特殊なパターンが印刷されます。特殊な用紙を用意することなく、原紙に複写牽制措置を付加することができます。

4. 認証印刷

認証印刷を行う場合に設定します。

5. 文書管理バーコード印刷

文書管理バーコード印刷を行う場合に設定します。設定した保管／廃棄期限情報と文書 ID をバーコード（QR コード）に変換し、文書管理情報として印刷することができます。



GE5000-BR

6. 電子印鑑印刷（GE5000-BR）

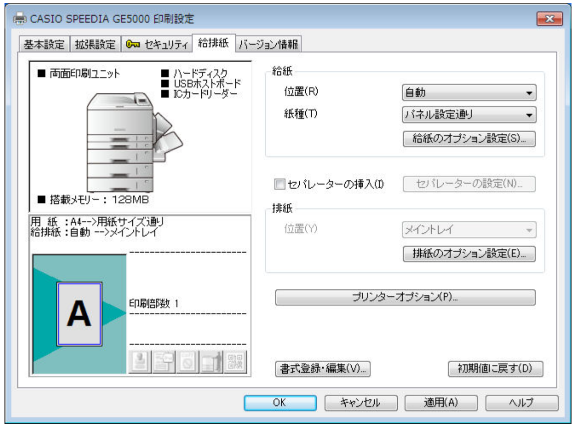
電子印鑑印刷を行う場合に設定します。詳細は下記を参照してください。

5.7 シヤチハタ電子印鑑を使う（GE5000-BR）（36 ページ）

- セキュリティ情報ガイダンス

プリンター側で設定された各種の印刷権限や、プリンタードライバーの初期値設定に影響するプリンター操作パネルの設定情報を表示します。

4.4　給排紙



プリンター装置構成

このタブでは、プリンターの装置構成が確認できます。装置構成の変更について詳細は下記を参照してください。

☞ **3.1 環境設定（7 ページ）**

1. 給紙－位置

給紙する位置を設定します。通常は「自動」のままで使用します。

2. 給紙－紙種

印刷する紙の種類を設定します。OHP シートや封筒、はがきおよび厚紙など、普通紙以外の用紙に印刷する場合は必ず設定が必要です。また、厚めの普通紙（70g/m^2 以上）を使用する場合は、用紙の厚さに合わせて「カラー上質紙（70 ～ 79g/m^2）」または「両面用上質紙（80 ～ 94g/m^2）」を設定してください。

※給紙装置ごとに使用する紙種が決まっている場合、プリンターの操作パネルで紙種を設定しておけば、プリンタードライバーの設定は「パネル設定通り」のまま変更する必要はありません。

※印刷画像を指でこすると剥がれるときは、紙種の設定を一段階厚い設定にすると改善される場合があります。

3. 給紙のオプション設定

通常は設定する必要はありません。ページごとに給紙位置を変更する設定のほか、給紙関連のオプション設定があります。

4. セパレーターの挿入

印刷の切れ目などの目印にセパレーターを挿入することができます。特定の給紙装置に色紙を用意して、印刷の切れ目にセパレーター用紙を挿入すれば仕分けが容易になります。また、OHP シートの貼り付き防止に、シートの間に普通紙をはさみ込むことができます。

5. 排紙－位置

印刷した用紙を排出する位置を設定します。（本プリンターはプリンターの排紙はメイントレイのみです。設定変更はできません。）

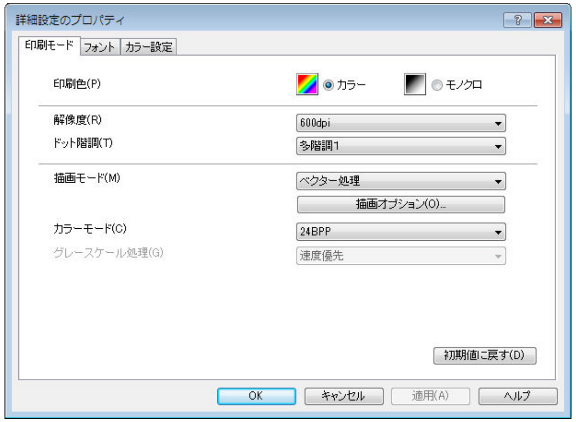
6. 排紙のオプション設定

通常は設定する必要はありません。排紙関連のオプション設定があります。用紙に対して印刷画像を 180° 回転して印刷する「リバース印字」の設定ができます。

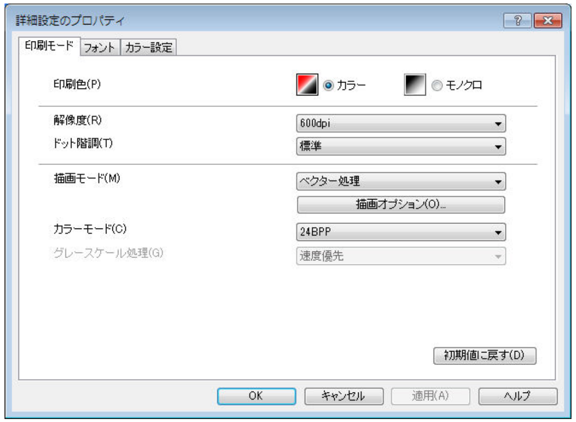
7. プリンターオプション

プリンター本体で処理される印刷オプションを設定します。

4.5　基本設定－詳細設定－印刷モード



GE5000



GE5000-BR

1. 印刷色

カラー原稿をモノクロで印刷する場合は「モノクロ」を選択します。

2. 解像度

プリンター解像度を設定します。通常600dpiから変更する必要はありません。グラデーションを多用するなど高精細なグラフィックを含むデータの場合、印刷に時間がかかることがありますので、解像度より印刷速度を重視する場合は300dpiに設定して印刷します。

※プリンター解像度は600dpi固定です。この設定により変更されるのはデータ側の解像度のみです。

3. ドット階調

ドット階調を設定します。「標準」よりも「多階調 1」の方がよりきれいに印刷できます。

※300dpi 時は設定できません。

4. 描画モード

ドライバーの描画方法を設定します。一般にラスター処理よりベクター処理の方が印刷速度は速くなります。ラスター処理では、印刷データをコンピューター側でイメージに展開してプリンターに送るため、スプールデータサイズは大きくなりますが画面に忠実な印刷ができます。

5. 描画オプション

スプールファイル生成時のベクター処理に関するオプションを設定します。

※ラスター処理時は設定できません。

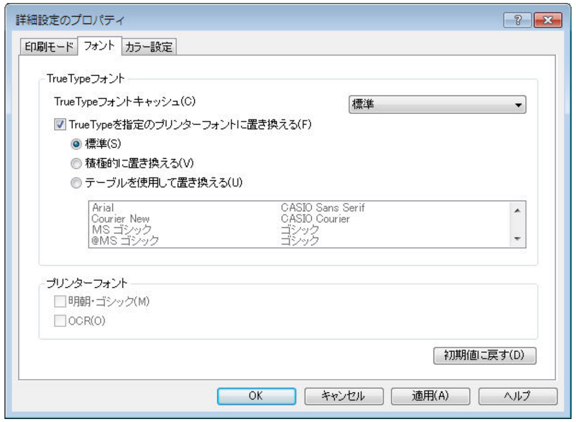
6. カラーモード

通常のカラー印刷時は、「24BPP（Bit/Pixel）」のまま変更する必要はありません。特定のアプリケーションで色が正しく印刷されないときに、この設定を変更すると正しい色で印刷できる場合があります。

7. グレースケール処理

モノクロ印刷時のグレースケール処理方法を設定します。「速度優先」に設定すると正しい階調のグラデーションが得られない場合がありますが、印刷速度は速くなります。

4.6　基本設定－詳細設定－フォント



1. **TrueType フォントー TrueType フォントキャッシュ**

一度使用した TrueType フォントを、プリンター内のメモリーに登録して再利用することで、同じフォントを複数回使用する際の印刷速度を向上させ、スプールデータサイズを削減させます。通常は「標準」のまま変更する必要はありません。

2. **TrueType フォントー TrueType を指定のプリンターフォントに置き換える**

TrueType フォントをプリンターフォントに置き換えて印刷することで、スプールデータサイズの削減を実現します。

「標準」では、「MS 明朝・ゴシック」「MSP 明朝・ゴシック」（JIS2004 対応フォントの場合を除く）および 5 種類の欧文フォントをプリンターフォントに置き換えます。

3. **プリンターフォントー明朝・ゴシック**

ラスター処理時、プリンターフォントを使用する場合にチェックします。通常は、使用しない方が品質的にも速度的にも良い結果が得られます。

4. **プリンターフォントー OCR**

プリンターに内蔵している OCR フォントを使用する場合にチェックします。

4.7　基本設定－詳細設定－カラー設定：カラー（GE5000）



1. カラーマネージメント

カラーマッチングを設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

※ICM（Image Color Matching）によるカラーマネージメントの設定には、別途 ICC プロファイルのインストールが必要です。インストール方法など、詳細は CD-ROM の ¥drivers¥icm¥readme.txt をご覧ください。

2. カラー調整

「自動」に設定すると､オブジェクトごとに最適なカラー調整で印刷します。「マニュアル」に設定すると、以下「3. マニュアル調整」が有効となり任意のカラー調整が可能になります。

3. マニュアル調整

テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトごとに、マニュアル調整することができます。チェックボックスにチェックがないオブジェクトは「自動」と同じカラー調整となります。

4. マニュアル調整－変更

「変更」ボタンをクリックすると、カラーマニュアル調整のダイアログボックスが表示されます。「変更」ボタンをクリックしたオブジェクトのタブが前面に表示されますので、任意のカラー調整を行ってください。その他のオブジェクトもタブを切り替えてカラー調整します。

5. サンプル画像の切り替え

テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトごとの、カラー調整状態を確認するサンプル画像を切り替えて表示します。

6. カスタム色指定

アプリケーションで設定された特定の色を、指定した別の色に置き換えることができます。

4.8　基本設定－詳細設定－カラー設定－カラーマニュアル調整：カラー（GE5000）





1. カラーマッチング

色の釣り合い（色合い）を設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

2. ディザリング

ディザリング（階調の表現方法）を設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

3. ブラック / グレーの表現方法

ブラック（R=G=B=0）とグレー（R=G=B= ＊）の表現方法を設定します。

ブラックやグレーを黒（K）トナーのみで表現するか､4 色（CMYK）トナーで表現するか、印刷の目的（画像）に応じて選択します。

4. 小文字の原色処理（テキストのみ）

12 ポイント以下の文字を、赤、緑、青、黒、シアン、マゼンタ、黄、白の 8 色のいずれかの色で印刷します。

5. 極細線の原色処理（グラフィックのみ）

600dpi の 1dot の線を、赤、緑、青、黒、シアン、マゼンタ、黄、白の 8 色のいずれかの色で印刷します。

6. 明度／コントラスト／彩度

明るさ／コントラスト／彩やかさを設定します。

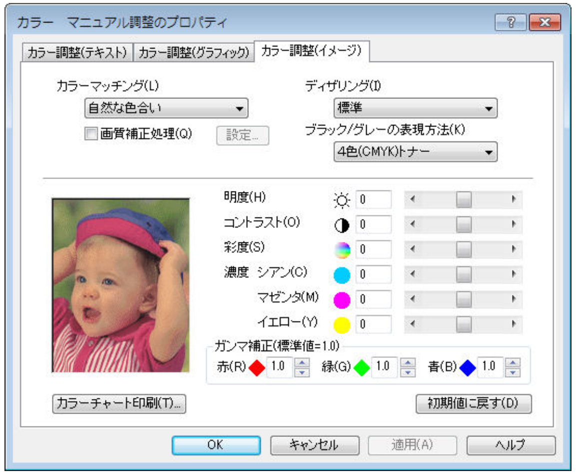
7. 濃度

シアン／マゼンタ／イエロートナーの濃度を設定します。各色ごとに独立して設定することができます。モノクロ印刷時は、1 色のみの設定になります。

8. ガンマ補正

R（赤）G（緑）B（青）の発色の強さ（明るさ）を設定します。

※モノクロ時は、赤、緑、青が、同じ値になります。



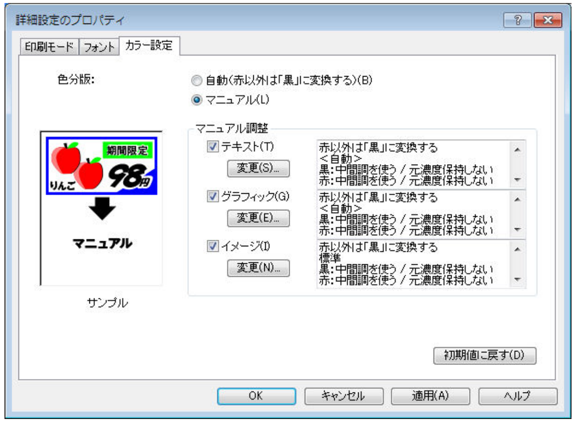
9. カラーチャート印刷

カラー調整の内容を確認するためのカラーチャートを印刷します。

10. 画質補正処理（イメージのみ）

画質補正処理を行います。シャープネスと画像拡大時のエッジをスムーズにする解像度補正処理の設定ができます。

4.9 基本設定－詳細設定－カラー設定：カラー（GE5000-BR）



1. 色分版

「自動」に設定すると、「赤以外は「黒」に変換する」設定で印刷します。「マニュアル」に設定すると、以下「2. マニュアル調整」が有効となり任意のカラー調整が可能になります。

2. マニュアル調整

テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトごとに、マニュアルで調整することができます。チェックボックスにチェックがないオブジェクトは「自動」と同じカラー調整となります。

3. マニュアル調整－変更

「変更」ボタンをクリックすると、カラーマニュアル調整のダイアログボックスが表示されます。「変更」ボタンをクリックしたオブジェクトのタブが前面に表示されますので、任意のカラー調整を行ってください。その他のオブジェクトもタブを切り替えてカラー調整します。

4.10 基本設定－詳細設定－カラー設定－カラーマニュアル調整：カラー（GE5000-BR）





1. 変換種類

フルカラーデータをブラック（黒）とレッド（赤）に分版（変換）する方法を設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

2. ディザリング

ディザリング（階調の表現方法）を設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

3. 中間調を使う

中間調を表現したいときに設定します。詳細は下記を参照してください。

☞ **5.8 既存のフルカラーデータを簡単な操作でブラック（黒）とレッド（赤）の 2 色に変換して印刷する（GE5000-BR）（45 ページ）**

4. 元濃度保持

中間調をより自然な階調で印刷するときに設定します。詳細は下記を参照してください。

☞ **5.8 既存のフルカラーデータを簡単な操作でブラック（黒）とレッド（赤）の 2 色に変換して印刷する（GE5000-BR）（45 ページ）**



5. カラーチャート印刷

カラー調整の内容を確認するためのカラーチャートを印刷します。

4.11　基本設定－詳細設定－カラー設定：モノクロ



1. カラー調整
「自動」に設定すると､オブジェクトごとに最適なカラー調整で印刷します。｢マニュアル｣に設定すると、以下「2. マニュアル調整」が有効となり任意のカラー調整が可能になります。

2. マニュアル調整
テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトごとに、マニュアル調整することができます。チェックボックスにチェックがないオブジェクトは「自動」と同じカラー調整となります。

3. マニュアル調整－変更
「変更」ボタンをクリックすると、カラーマニュアル調整のダイアログボックスが表示されます。｢変更｣ボタンをクリックしたオブジェクトのタブが前面に表示されますので、任意のカラー調整を行ってください。その他のオブジェクトもタブを切り替えてカラー調整します。

4. サンプル画像の切り替え
テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトごとの、カラー調整状態を確認するサンプル画像を切り替えて表示します。

4.12　基本設定－詳細設定－カラー設定－カラーマニュアル調整：モノクロ





1. ディザリング

ディザリング（階調の表現方法）を設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

2. 明度／コントラスト

明るさ／コントラストを設定します。

3. 濃度

トナーの濃度を設定します。

4. ガンマ補正

R（赤）G（緑）B（青）の発色の強さ（明るさ）を設定します。

※ モノクロ時は、赤、緑、青が、同じ値になります。



5. カラーチャート印刷

カラー調整の内容を確認するためのカラーチャートを印刷します。

6. 画質補正処理（イメージのみ）

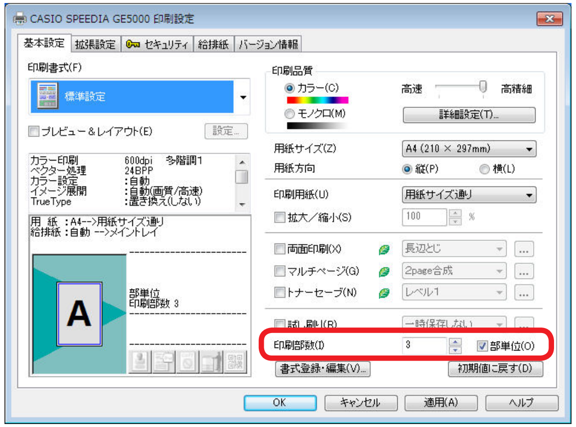
画質補正処理を行います。

シャープネスと画像拡大時のエッジをスムーズにする解像度補正処理の設定ができます。

5. こんなことができます <基本的な設定>

プリンタードライバーが持つ各機能の利用方法の一部をご案内します。プリンター活用ガイドにもプリンターの様々な機能を活用いただくための手順が記載されていますので併せてご覧ください。

5.1　複数部数の印刷を部単位ごとにソートして印刷する（部単位印刷）

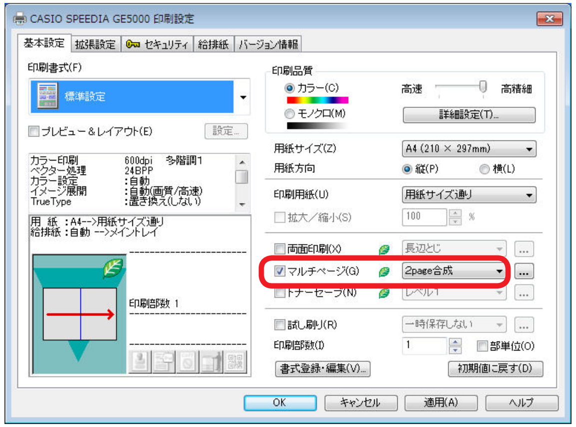


⚠ 注 意　印刷部数はアプリケーション側で設定してください。ただし、アプリケーション側に設定がない場合はプリンタードライバー側で設定します。

- 部単位ごとにソートして複数部数の印刷をする場合は､｢基本設定｣タブの｢部単位｣をチェックして印刷します。
- プリンターにハードディスクを装着すると、コンピューターからのデータ出力時間が短縮されると共により高速な印刷ができます。（モノクロ設定時は搭載メモリーを使用して同様の処理を行います。）

※部単位印刷は、プリンターフォルダーから開く「環境設定」－「動作設定」の設定内容で動作が異なりますので必要に応じて設定します。設定を変更すると、アプリケーション側の設定方法も変わりますので注意が必要です。
（詳細はプリンタードライバーのヘルプをご覧ください。）

5.2　複数のページを 1 枚の用紙にまとめて印刷する（マルチページ「合成」印刷）



マルチページ「合成」の機能を使って、複数ページのデータを 1 枚の用紙に印刷することができます。

- マルチページ「合成」印刷をする場合は、「基本設定」タブの「マルチページ」をチェックして、マルチページの種類をリストから選択します。「自由合成」などの詳細は「...」ボタンをクリックして表示される「マルチページの設定」ダイアログボックスで設定します。

　※「マルチページの設定」ダイアログボックスは、リストで選択した種類の設定状態で表示されます。



複数ページを 1 枚の用紙にまとめるには「合成」タブを選びます。

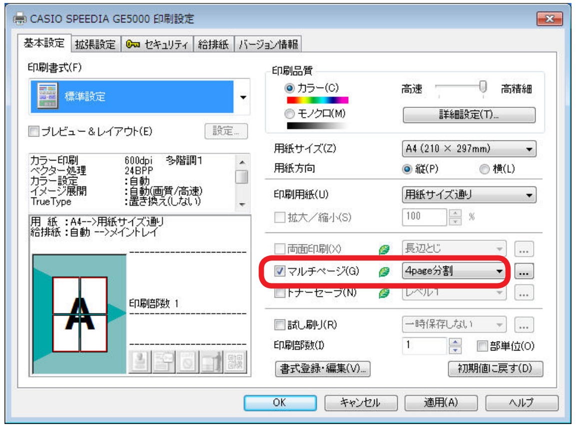
用紙イメージを確認しながら設定を変更できます。

一般によく使われる設定は、あらかじめ用意されているアイコンを選んで設定できます。

「自由指定」ボタンをクリックして、任意の設定で「合成」することもできます。

9 ページを縮小して 1 枚の用紙に入れたり、印刷用紙に長尺紙を使って、A4 の原稿を実寸のまま 4 ページ分並べて 1 枚の用紙に印刷することもできます。

5.3　模造紙大まで拡大して印刷する（マルチページ「分割」印刷）



マルチページ「分割」の機能を使って、1 ページを模造紙大の大きさに拡大して印刷することができます。実際は模造紙大の用紙に印刷できませんので、複数の用紙に分けて印刷し貼り合わせてください。

- マルチページ「分割」印刷をする場合は、「基本設定」の「マルチページ」をチェックして、マルチページの種類をリストから選択します。「自由分割」などの詳細は「…」ボタンをクリックして表示される「マルチページの設定」ダイアログボックスで設定します。

※「マルチページの設定」ダイアログボックスは、リストで選択した種類の設定状態で表示されます。



1 ページを複数の用紙に分けて印刷するには「分割」タブを選びます。

用紙イメージを確認しながら設定を変更できます。

一般によく使われる設定は、あらかじめ用意されているアイコンを選んで設定できます。

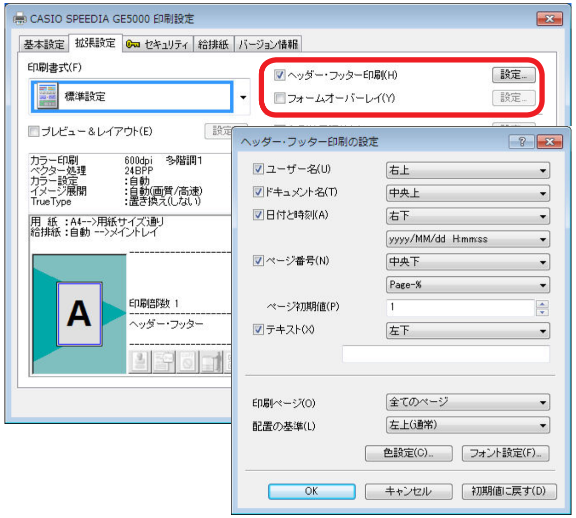
「自由指定」ボタンをクリックして、任意の設定で「分割」することもできます。

用紙 9 枚を使って 9 倍の大きさに拡大したり、印刷用紙に長尺紙を使って、模造紙大の大きさに印刷することもできます。

長尺紙（297mm × 900mm）を横向きに置き、縦に 4 枚並べて貼り合わせることで、模造紙（790mm × 1083mm）を超える大きさを実現します。

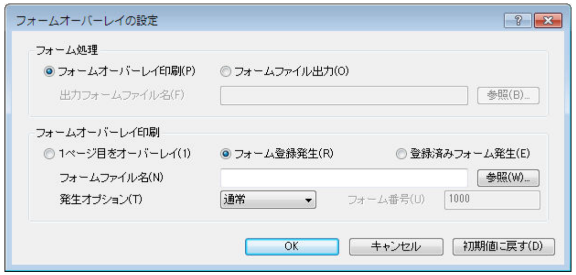
※一定の拡大率を超えると Windows 側の処理能力を超え、拡大部分の劣化が目立つようになります。

5.4　文書にデータを追加して印刷する



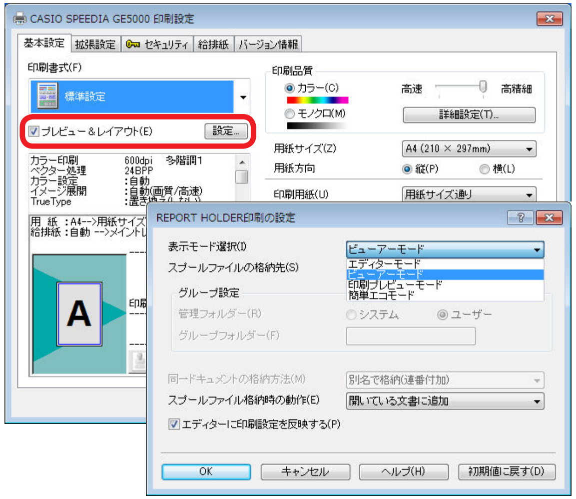
プリンタードライバーの機能を使って、文書データにない情報を付加した印刷をすることができます。

- ヘッダー・フッター印刷
  「ユーザー名」や「ドキュメント名」などの情報を、ヘッダーやフッターのように各ページに印刷することができます。



- フォームオーバーレイ
  文書の 1 ページを、他の文書に重ね合わせて印刷したり、「FORMG Ⅲ Ver.2/Ver.3」で作成したフォームファイルをオーバーレイ印刷することができます。

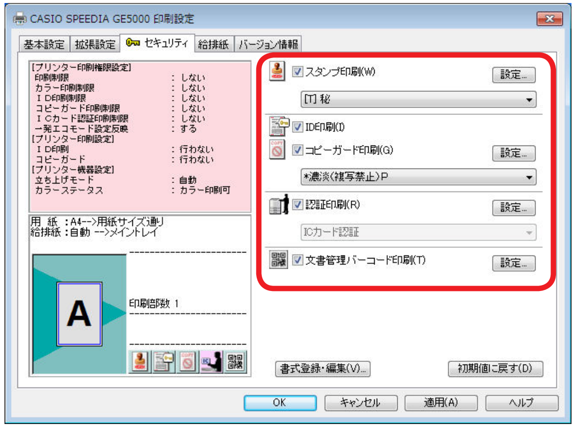
5.5　印刷データを再構成して印刷する（プレビュー & レイアウト：REPORT HOLDER 印刷）（GE5000）



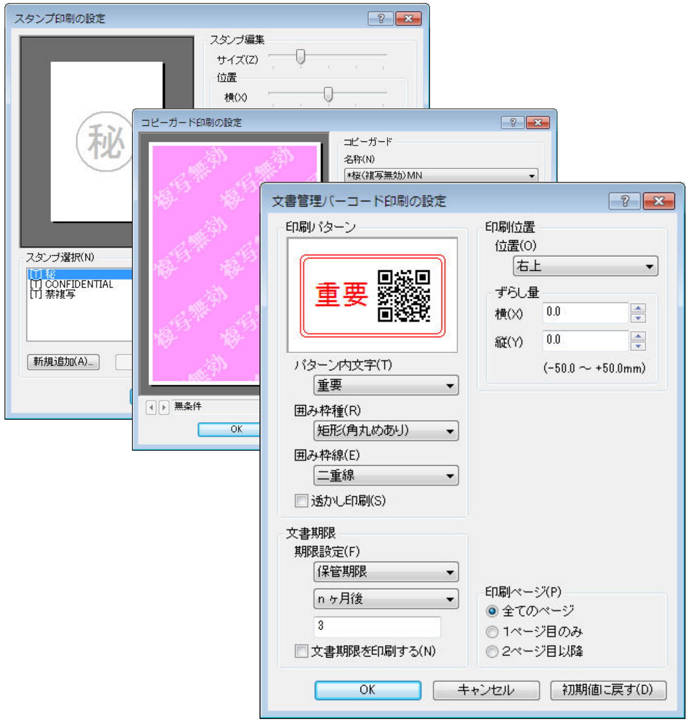
「プレビュー & レイアウト」をチェックして印刷（別称「REPORT HOLDER 印刷」）を行うと表示される「プレビュー画面」で「Report Holder 編集」ボタンをクリックすると、REPORT HOLDER エディターが起動し、印刷データを再構成（ページの入れ替え、追加など）して印刷することができます。

- 「プレビュー & レイアウト」の「設定」ボタンをクリックすると開く「REPORT HOLDER 印刷の設定」ダイアログボックスで､表示モード選択「ビューアモード」または「エディターモード」を選択して、直接 REPORT HOLDER エディターを起動することもできます。
  ※ 初期値は「プレビュー画面」が開く「印刷プレビューモード」です。
  ※「簡単エコモード」で開く「簡単エコ印刷ナビ」からは REPORT HOLDER エディターは起動できません。
- REPORT HOLDER エディターでは、ページ順序の並べ替えや、ハードディスクに保存しておいた他の文書のページを取り込むことができます。また、こうして再構成した印刷データを保存することもできます。
- 「簡単エコモード」で開く「簡単エコ印刷ナビ」ではエコロジーなレイアウト設定やドライバー設定が変更できます。
- REPORT HOLDER エディターの詳細は、REPORT HOLDER for SPEEDIA ソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- 「簡単エコ印刷ナビ」の詳細は、簡単エコ印刷ナビマニュアルをご覧ください。

5.6　文書にセキュリティ情報を付加して印刷する



GE5000



プリンターとプリンタードライバーの機能を使って、セキュリティ情報を付加して印刷をすることができます。

- **スタンプ印刷**
  文字や画像を、スタンプや透かしのように各ページに印刷することができます。
- **ID 印刷**
  各ページの余白（印字禁止領域部分）に、ログオンユーザー名、印刷時刻、コンピューター名、プリンターシリアル番号を印字します。印刷物が、何時、何処で、誰が印刷したかなどがわかるようになります。
- **コピーガード印刷（GE5000）**
  機密文書や証明書などの印刷書類では、書類の偽造、不正利用、流出を抑止する手段として、書類のコピー、複製であることを意味する文字が浮かびあがる特殊な用紙を使用することがあります。コピーガード印刷時に設定します。コピーガード印刷を選択して印刷すると、印刷物をコピーしたときに文字が浮かびあがる特殊なパターンが印刷されます。特殊な用紙を用意することなく、原紙に複写牽制措置を付加することができます。
- **文書管理バーコード印刷**
  保管／廃棄期限情報と文書 ID をバーコード（QR コード）に変換して、設定した印刷パターンで印刷することができます。
- **電子印鑑印刷（GE5000-BR）**
  電子印鑑印刷を行う場合に設定します。詳細は下記を参照してください。
  ☞ 5.7 シヤチハタ電子印鑑を使う（GE5000-BR）（36 ページ）

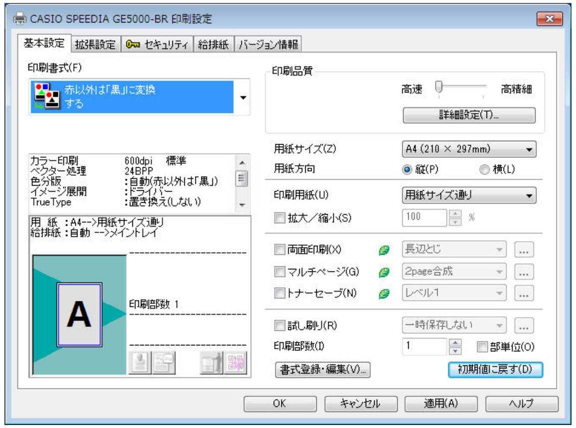
※各機能の設定に関する詳細は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。

5.7　シヤチハタ電子印鑑を使う（GE5000-BR）

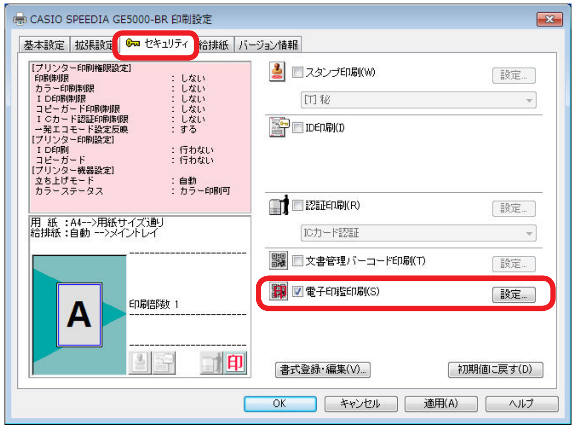
「シヤチハタ電子印鑑」をプリンタードライバーに登録および設定方法について説明します。

注 意　下記弊社ホームページより、最新のプリンタードライバーをダウンロードしてご使用ください。バージョンによっては電子印鑑に対応していない場合があります。
http://casio.jp/ppr

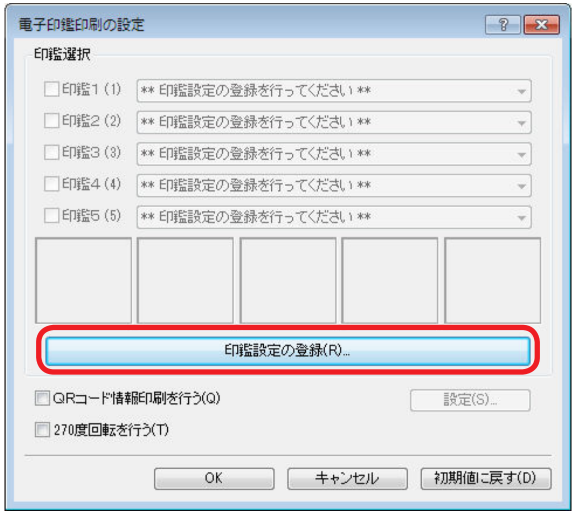
5.7.1「シヤチハタ電子印鑑」の登録



1. 「スタート」メニューの「デバイスとプリンター」をクリックして、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

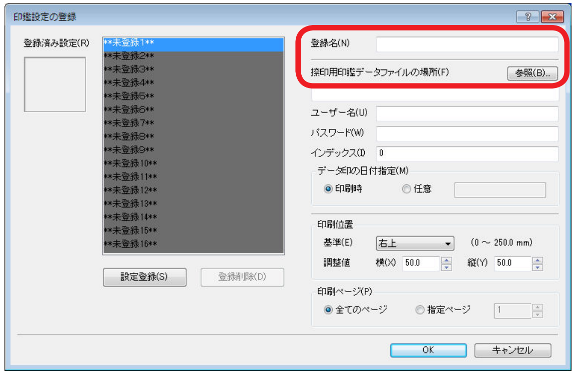


2. 「セキュリティ」タブを選択して「電子印鑑印刷」にチェックを入れ、「設定」ボタンをクリックします。



3. 「印鑑設定の登録」ボタンをクリックして、印鑑設定の登録画面を開きます。

ポイント 5 つの電子印鑑を同時に利用した捺印が可能です。



4. 「登録名」と「捺印用印鑑データファイルの場所」を登録します。

ポイント 最大 16 個まで登録できます。

「登録名」: 登録する電子印鑑の種類が認識しやすい名称を入力します。
全角 20 文字（40 バイト）まで設定できます。

「捺印用印鑑データファイルの場所」: シヤチハタ株式会社から発行された電子印鑑（IPX または DSM 形式ファイル）を選択します。

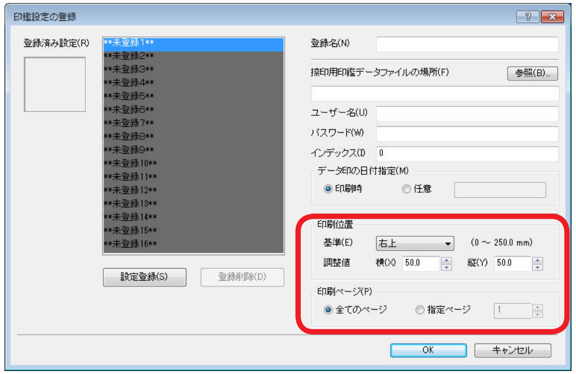
注 意 DSM 形式ファイルを選択する場合は、必要に応じて下記を設定してください。

“ユーザー名” ／ “パスワード”：印鑑データ申込み時に、シヤチハタ株式会社から発行されたユーザー名（＝カスタマー ID）とパスワードを入力してください。

“インデックス”：1 つの DSM 形式ファイルに複数の電子印鑑が含まれている場合、呼び出したい電子印鑑の指定にインデックス番号が必要です。

“データ印の日付指定”：データ印は指定が必要です。［印刷時］か［任意］で指定できます。「任意」の場合、YYYY / MM / DD で入力してください。

※電子印鑑に関する仕様や使い方については、シヤチハタ株式会社へお問い合わせください。

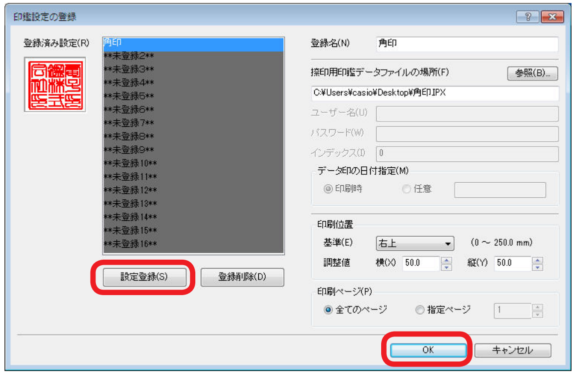


5. 「印刷位置」と「印刷ページ」を登録します。

「印刷位置」基準　：印影を印刷する用紙の場所を指定します。

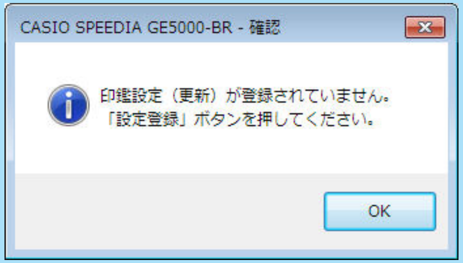
調整値：印影の中心から横、縦位置を 0.1㎜単位で、0 ～ 250㎜の範囲で指定します。印刷領域から外れた部分は印刷されません。

「印刷ページ」　：印影を印刷するページを指定します。

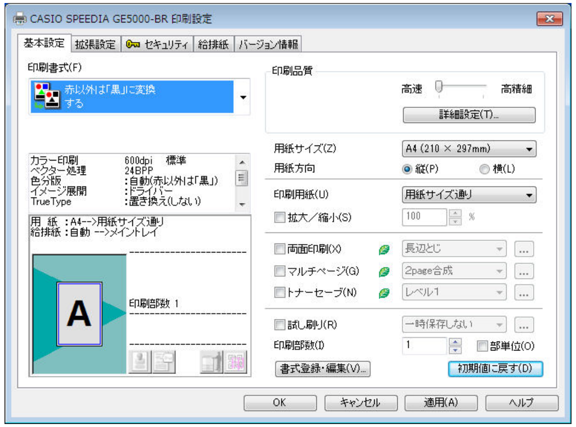


6. 設定後、「設定登録」ボタンをクリックして「OK」ボタンをクリックします。

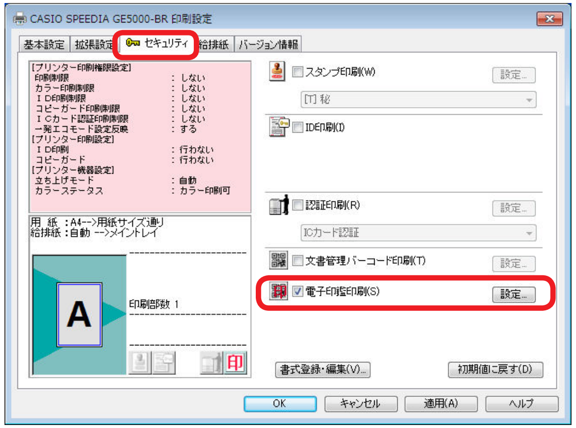
注 意　「設定登録」ボタンをクリックする前に、「OK」ボタンをクリックすると設定が登録されません。



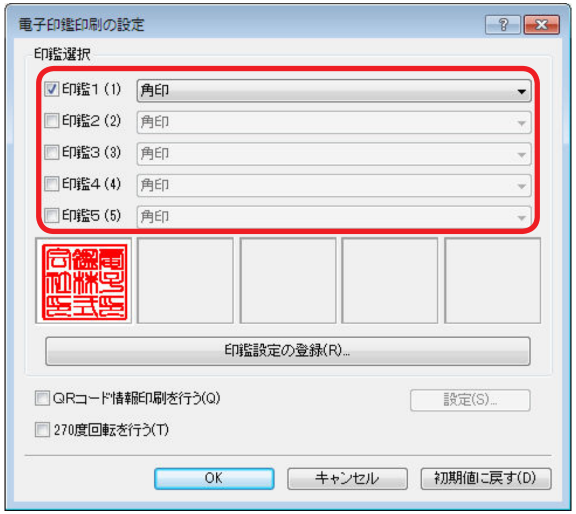
5.7.2 電子印鑑を使用する



1. アプリケーションから「印刷」を選択して、プリンターの「プロパティ」ボタンをクリックします。



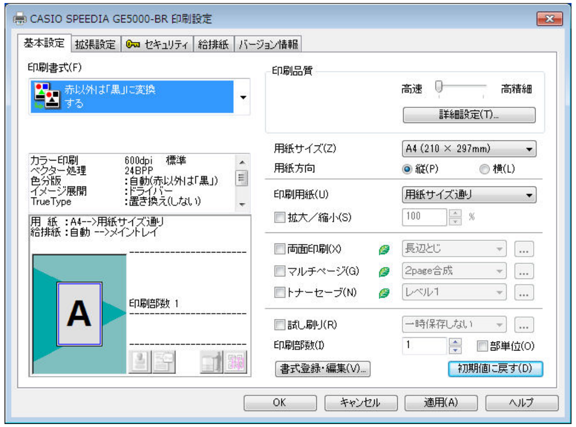
2. 「セキュリティ」タブを選択して「電子印鑑印刷」にチェックを入れ、「設定」ボタンをクリックします。



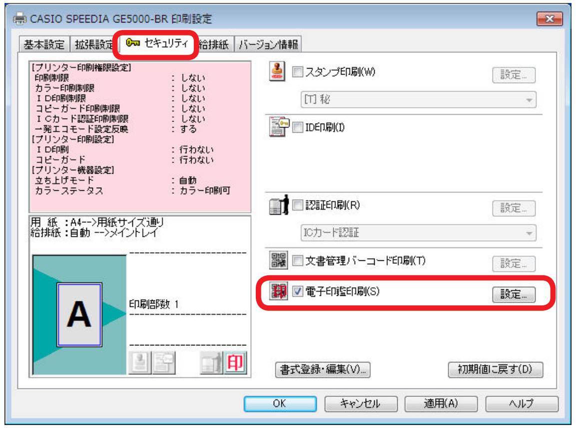
3. 「印鑑選択」から捺印する電子印鑑にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックし、アプリケーションの「印刷」画面から印刷します。

複数の電子印鑑を登録している場合は、リストから印鑑を選択します。

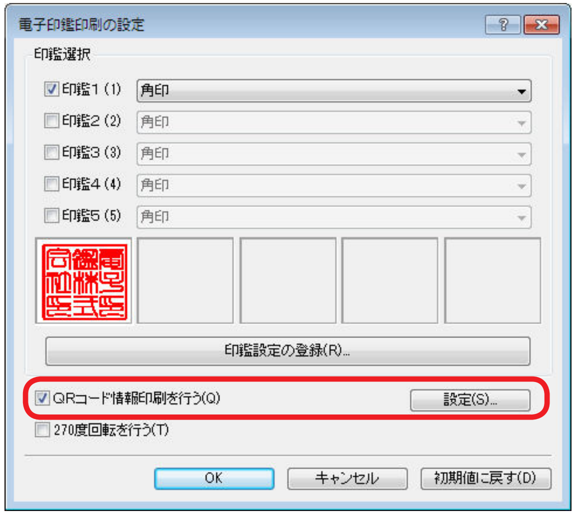
5.7.3 シヤチハタ電子印鑑の履歴を QR コードで印字する



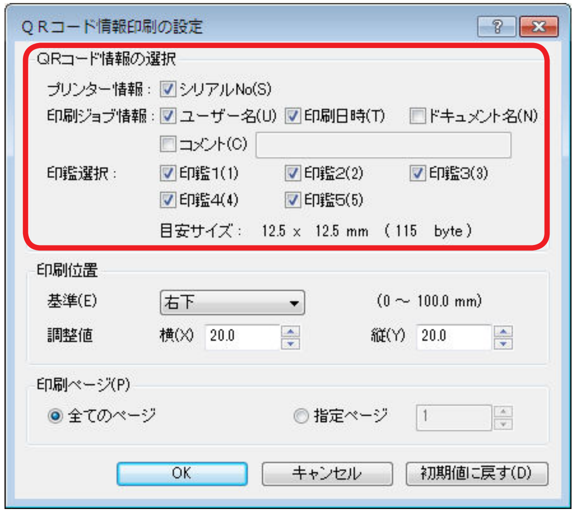
1. アプリケーションから「印刷」を選択して、プリンターの「プロパティ」ボタンをクリックします。



2. 「セキュリティ」タブを選択して「電子印鑑印刷」にチェックを入れ、「設定」ボタンをクリックします。



3. 「QR コード情報印刷を行う」にチェックを入れて「設定」ボタンをクリックします。



4. 「QR コード情報の選択」で、QR コードとして情報を印刷する項目を選択します。

「プリンター情報」

シリアル No　　：印刷したプリンターのシリアル No 情報です。

「印刷ジョブ情報」

ユーザー名　　　：印刷する PC のログオンユーザー名情報です。

印刷日時　　　　：印刷した時間情報（年月日時分秒）です。

ドキュメント名：印刷するドキュメントのファイル名情報です。

コメント　　　　：任意の文字列情報です。

「印鑑選択」

登録した電子印鑑（1 ～ 5）のうち、情報を付加する電子印鑑を選択します。

5. 「印刷位置」と「印刷ページ」を登録して、「OK」ボタンをクリックします。

「印刷位置」

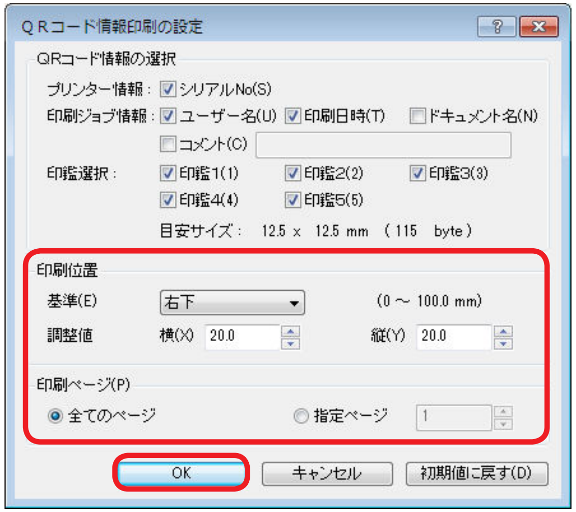
基準　　　　：QR コードを印刷する用紙の場所を指定します。

調整値　　　：QR コードの中心から横・縦位置を 0.1mm 単位で 0 ～ 100mm の範囲で指定します。指定位置が印刷領域外に掛かった場合は、自動的に印刷領域内で印刷されます。

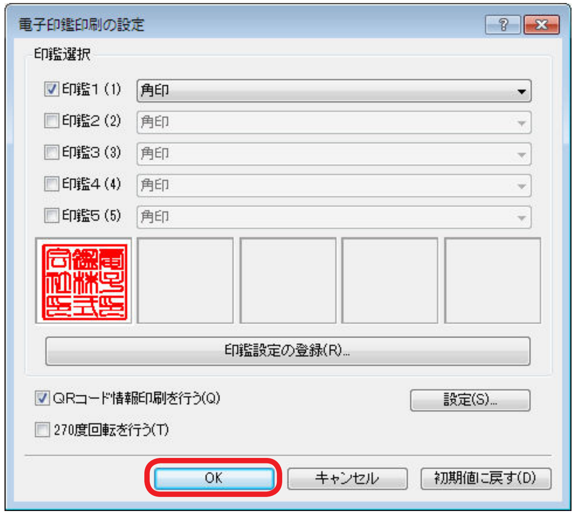
「印刷ページ」：QR コードを印刷するページを指定します。指定により、格納される捺印履歴の情報が変わります。

全てのページ：ページ毎に捺印された印鑑情報

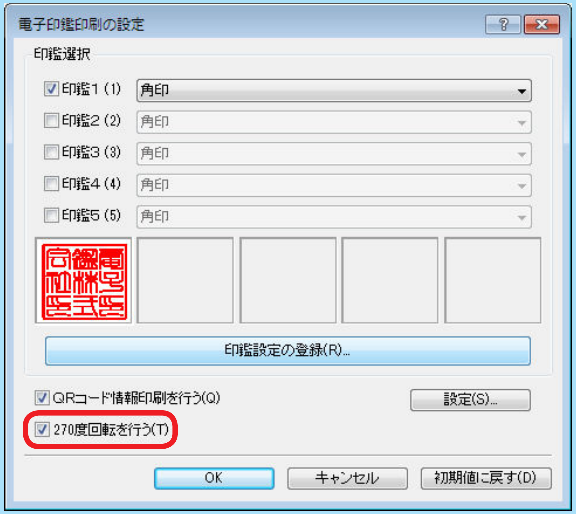
指定ページ　：指定ページまでに捺印された最後の印鑑情報



6. 設定後、「OK」ボタンをクリックしてアプリケーションの「印刷」画面から印刷します。



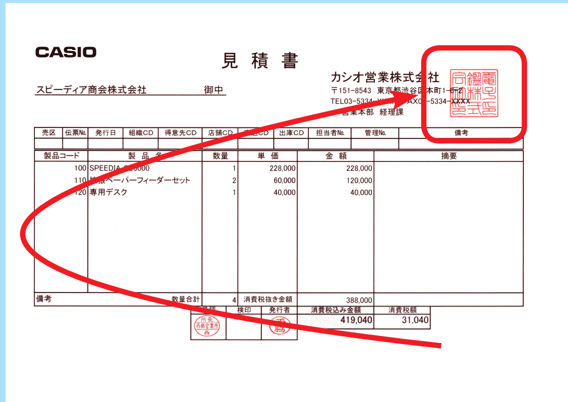
ポイント　PDF 形式ファイルへの捺印印刷で、印影および QR コードが 270 度回転した向きで印刷されるときは、「270 度回転を行う」にチェックすると正常な向きで印刷されます。



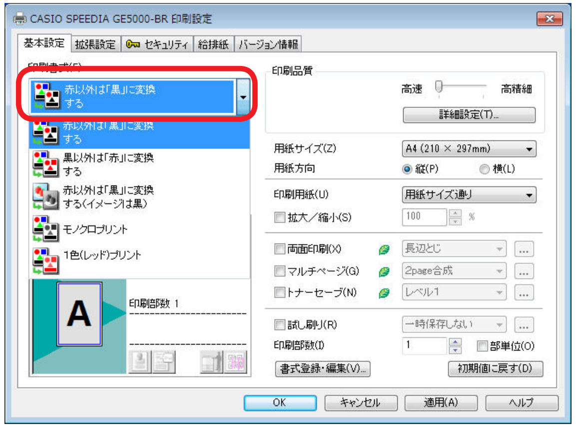
☐ 270 度回転を行う



☑ 270 度回転を行う



5.8　既存のフルカラーデータを簡単な操作でブラック（黒）とレッド（赤）の 2 色に変換して印刷する（GE5000-BR）

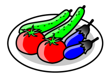


フルカラーデータをブラック(黒)とレッド(赤)の 2 色に変換して印刷する場合は､｢基本設定｣タブの「印刷書式」を設定して印刷します。

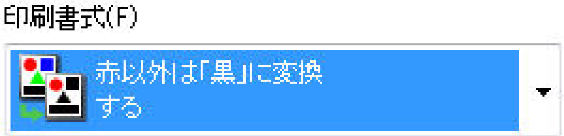
> **注 意**　ブラック（黒）とレッド（赤）のみで作成されているデータは、プリンタードライバーのデフォルト設定（「印刷書式」が「赤以外は「黒」に変換する」）で印刷してください。データどおりに印刷されます。

下記の色で作成されたフルカラーデータを､設定した書式によりブラック（黒）とレッド（赤）に変換して印刷します。

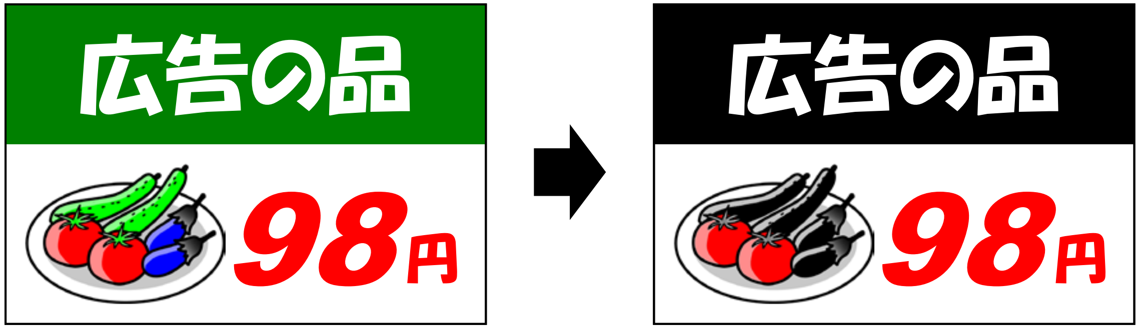


※この例では、98円 は文字属性・広告の品 はグラフィック属性・ はイメージ属性の描画オブジェクトで作成されているものとして説明します。

※次ページ以降に示す印刷結果は例です。実際の色合いと異なることがあります。印刷結果を保証するものではありません。

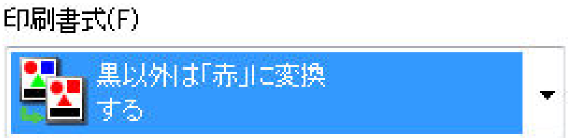


• 「赤以外は「黒」に変換する」を設定

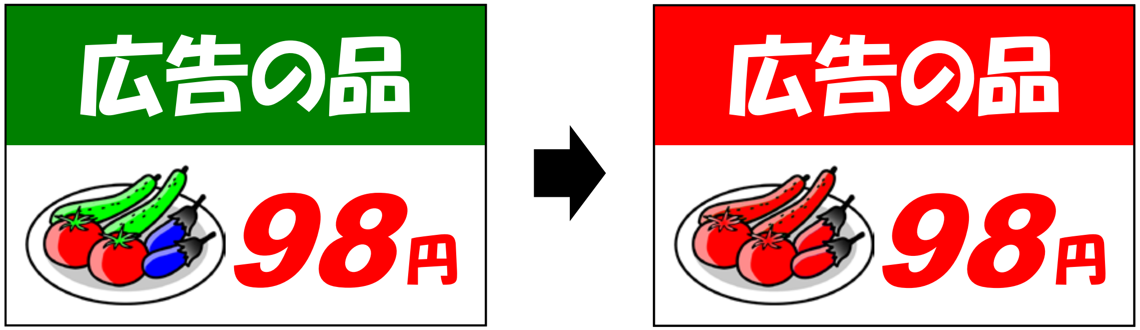


※「きゅうり」や「なす」の中間調をより自然に表現したいときは、詳細は下記を参照してください。

5.10　中間調を自然な階調で印刷する（GE5000-BR）（51 ページ）

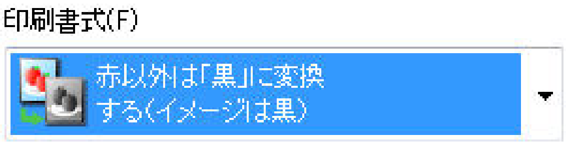


• 「黒以外は「赤」に変換する」を設定

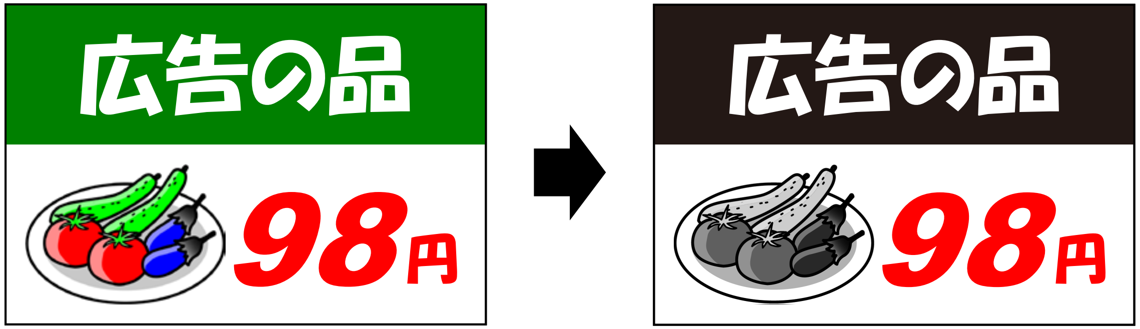


※「きゅうり」や「なす」の中間調をより自然に表現したいときは、詳細は下記を参照してください。

5.10　中間調を自然な階調で印刷する（GE5000-BR）（51 ページ）



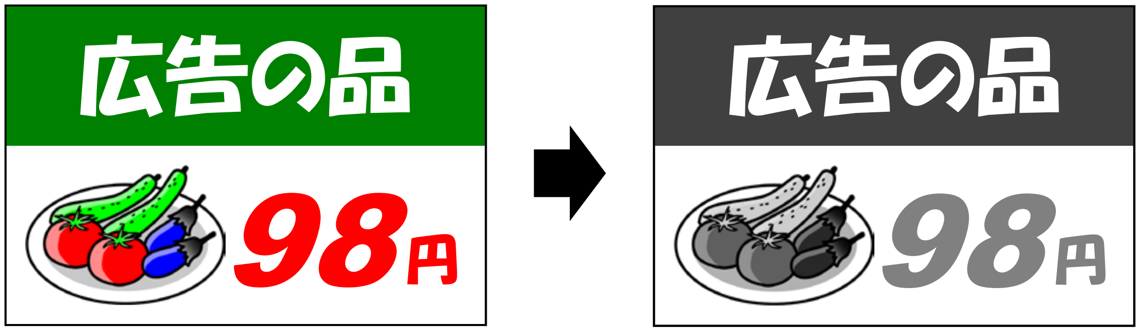
• 「赤以外は「黒」に変換する（イメージは黒)」を設定

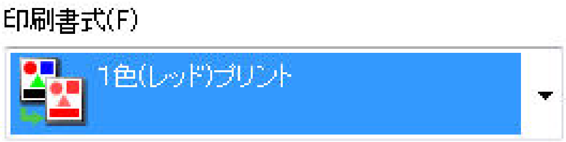


※アプリケーションによっては、見た目の描画オブジェクト属性（テキスト／グラフィック／イメージ）と実際の描画オブジェクト属性が異なることがあります。

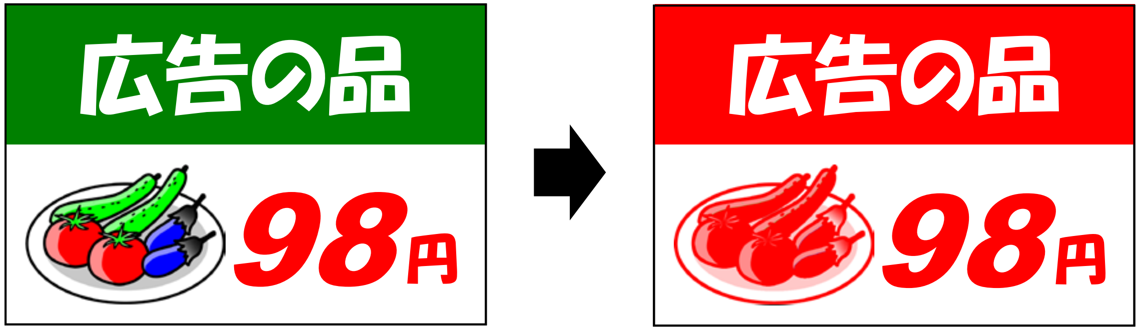


• 「モノクロプリント」を設定





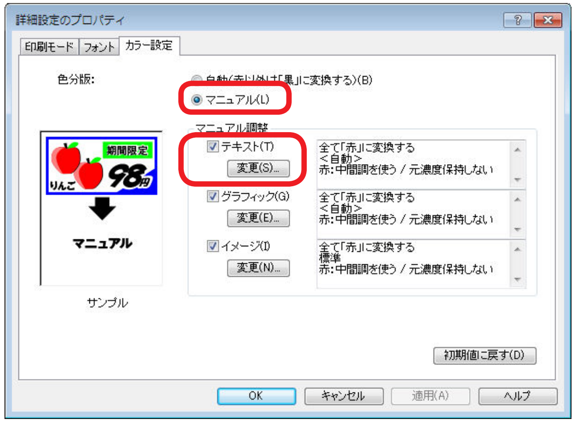
• 「1 色（レッド）プリント」を設定

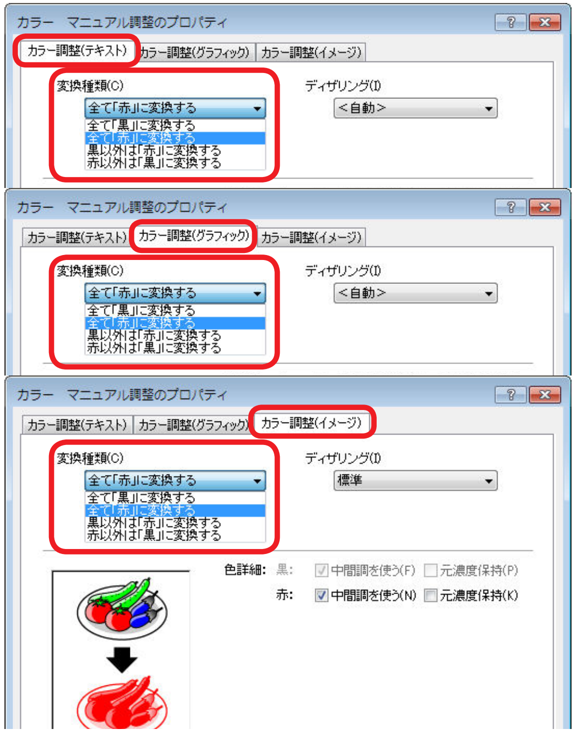


※「きゅうり」や「なす」の中間調をより自然に表現したいときは、詳細は下記を参照してください。

5.10　中間調を自然な階調で印刷する（GE5000-BR）（51 ページ）

5.9　文字を赤色で文字以外を黒色で印刷する（GE5000-BR）



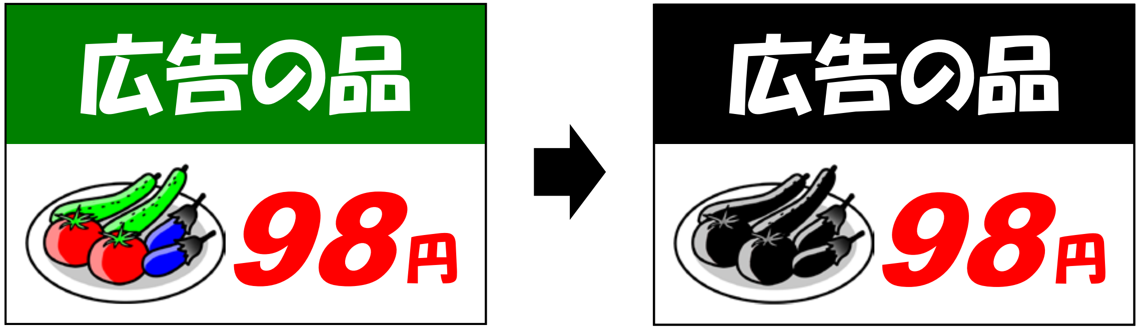


- 文字をレッド（赤）・文字以外をブラック（黒）で印刷する場合は、「基本設定」タブの「詳細設定」ボタンをクリックして、「カラー設定」タブの「色分版」を「マニュアル」に設定します。

  「マニュアル調整:テキスト」の「変更」ボタンをクリックして、「変換種類」から「全て「赤」に変換する」を選択します。

  タブを「カラー調整（グラフィック）」に切り替え、「変換種類」を「全て「黒」に変換する」を選択します。

  さらに、タブを「カラー調整（イメージ）」に切り替え、「変換種類」を「全て「黒」に変換する」を選択します。



※「きゅうり」や「なす」の中間調をより自然に表現したいときは、詳細は下記を参照してください。

☞ **5.10　中間調を自然な階調で印刷する（GE5000-BR）（51 ページ）**

※変換前データの文字が白色の場合は、レッド（赤）で印刷することはできません。

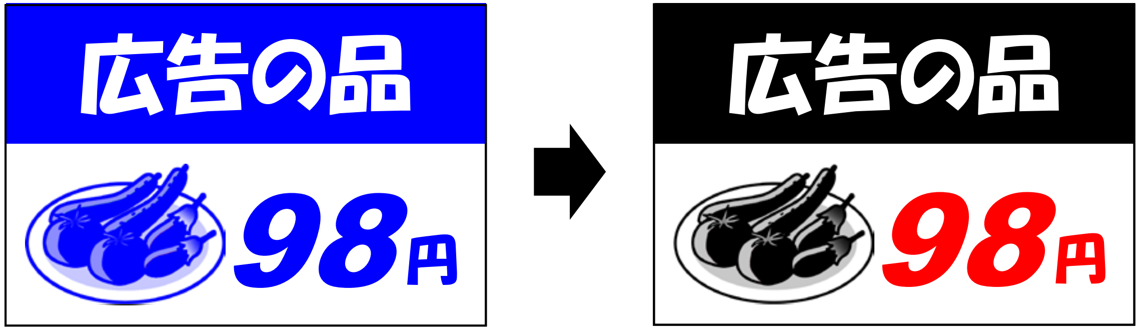
※逆の設定をすると、文字をブラック（黒）・文字以外をレッド（赤）で印刷できます。

※同様の設定で、図形（グラフィック）をレッド（赤）・図形以外をブラック（黒）で印刷することもできます。また、逆の設定もできます。

※同様の設定で、イメージをレッド（赤）･イメージ以外をブラック（黒）で印刷することもできます。また、逆の設定もできます。

※アプリケーションによっては､見た目の描画オブジェクト属性（テキスト／グラフィック／イメージ）と実際の描画オブジェクト属性が異なることがあります。

例えば、すべて青で作成されたデータの、文字部分だけをレッド（赤）で印刷することができます。



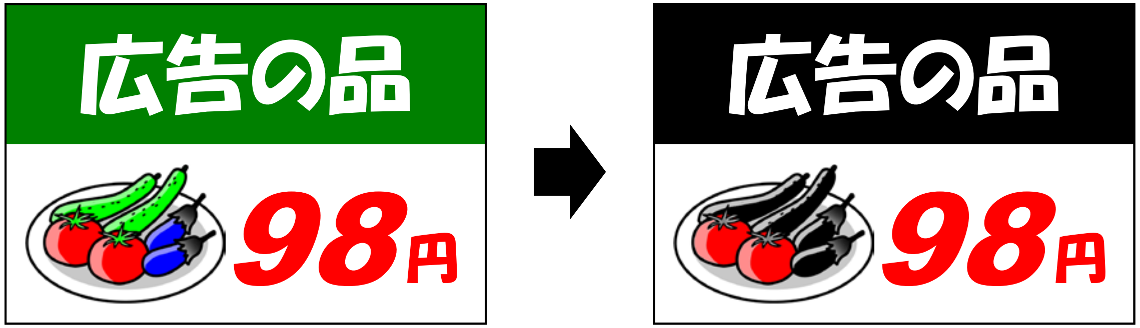
5.10　中間調を自然な階調で印刷する（GE5000-BR）



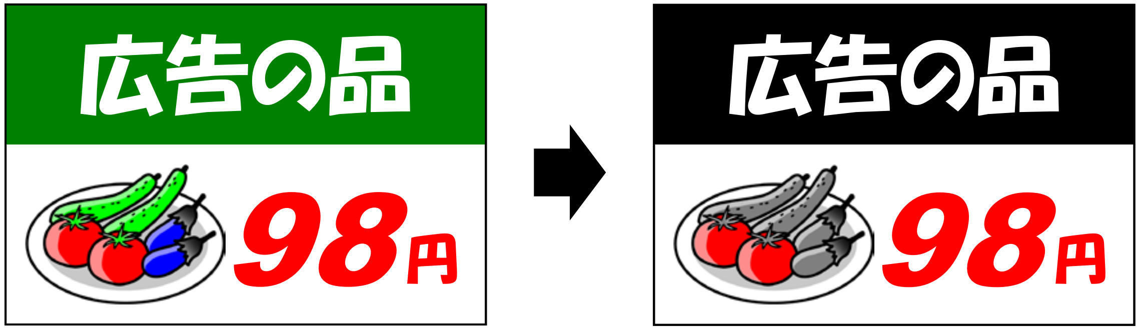
- 中間調を自然な階調で印刷する場合は、「カラー調整」タブの「色詳細：元濃度保持」を設定して印刷します。

  ブラック（黒）で印刷される部分の中間調を自然な階調で印刷する場合は、「色詳細：黒」の「元濃度保持」をチェックします。

  印刷書式で「赤以外は「黒」に変換する」を設定すると、以下のように印刷されます。



さらに、「カラー調整（イメージ）」タブの「色詳細：黒」の「元濃度保持」をチェックすると、以下のように印刷されます。

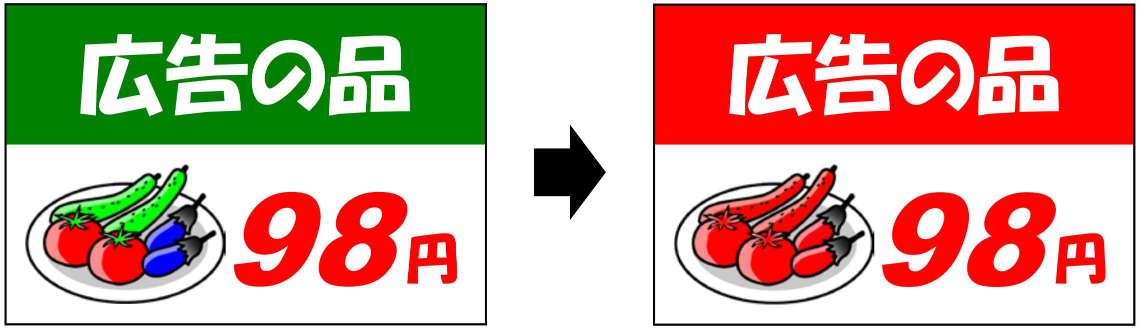


「きゅうり」や「なす」の中間調がより自然な階調となります。

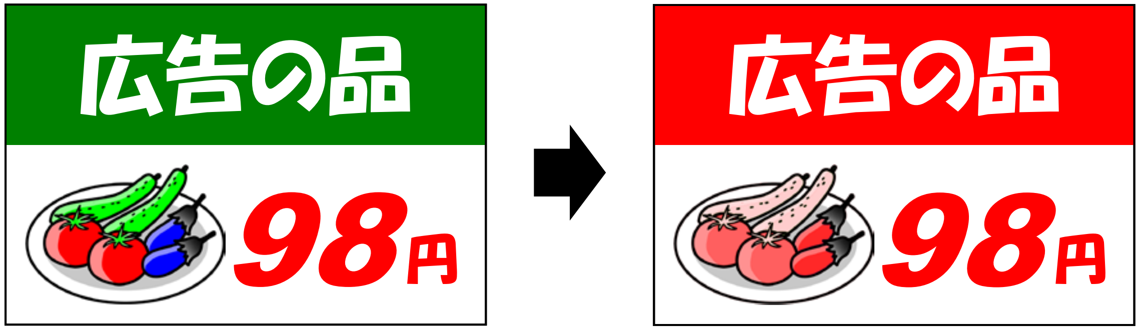


レッド（赤）で印刷される部分の中間調を自然な階調で印刷する場合は、「色詳細：赤」の「元濃度保持」をチェックします。

印刷書式で「黒以外は「赤」に変換する」を設定すると、以下のように印刷されます。



さらに、「カラー調整（イメージ）」タブの「色詳細：赤」の「元濃度保持」をチェックすると、以下のように印刷されます。



「きゅうり」、「なす」、「トマト」の中間調がより自然な階調となります。

※「元濃度保持」の設定は、「カラー調整（イメージ）」タブ、「カラー調整（テキスト）」タブ、「カラー調整（グラフィック）」タブにあります。調整したい描画オブジェクトに従い使い分けてください。

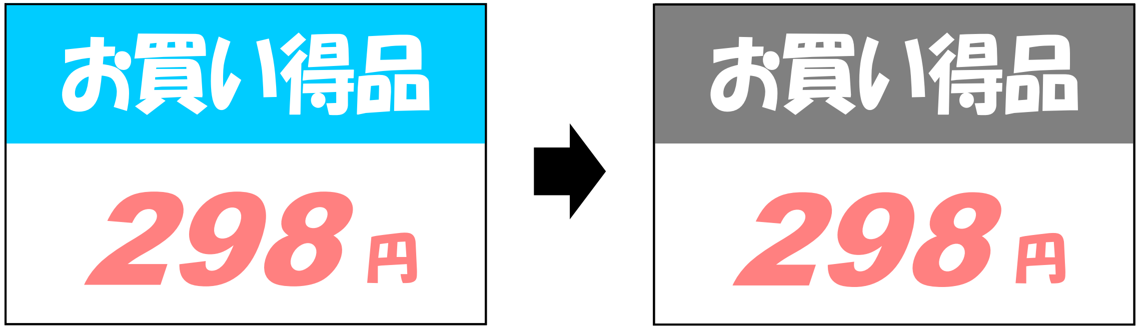
5.11　濃い色で印刷する（GE5000-BR）



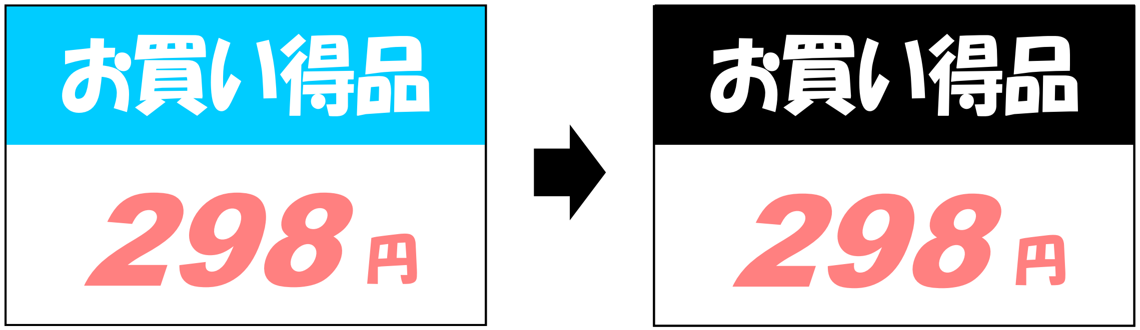
- 濃い色で印刷する場合は、「カラー調整」タブの「色詳細：中間調を使う」を設定して印刷します。

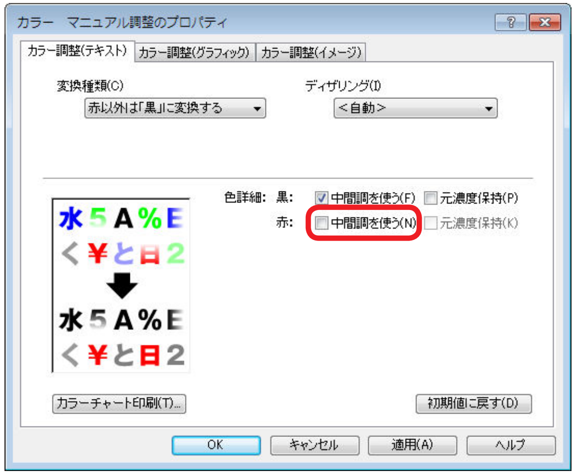
ブラック（黒）で印刷される部分の色を濃い色（濃度 100%）で印刷する場合は、「色詳細：黒」の「中間調を使う」のチェックを外します。

印刷書式で「赤以外は「黒」に変換する」を設定すると、以下のように印刷されます。



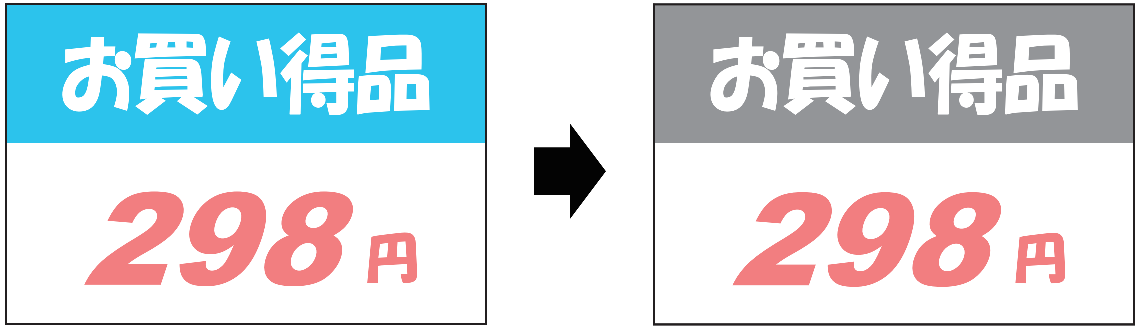
「カラー調整（グラフィック)」タブの「色詳細：黒」の「中間調を使う」のチェックを外すと、以下のように印刷されます。



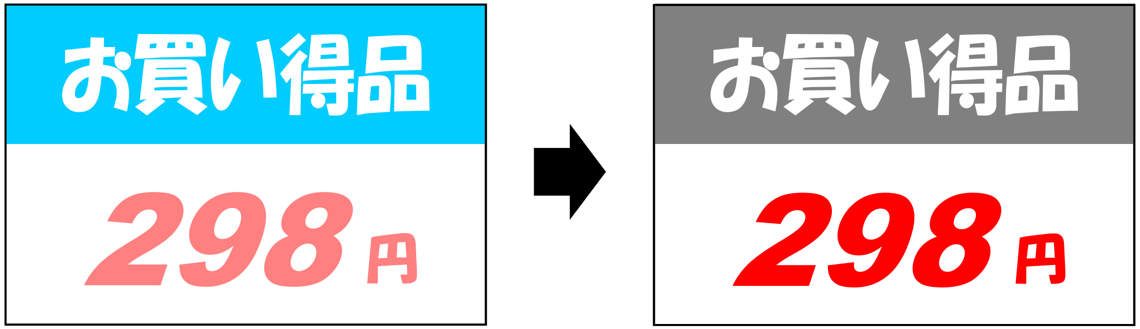


レッド（赤）で印刷される部分の色を濃い色（濃度 100%）で印刷する場合は、「色詳細：赤」の「中間調を使う」のチェックを外します。

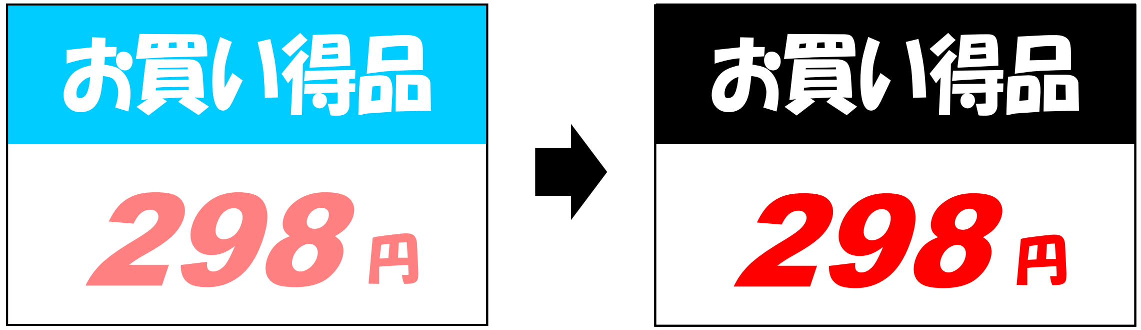
印刷書式で「赤以外は「黒」に変換する」を設定すると、以下のように印刷されます。



さらに、「カラー調整（テキスト）」タブの「色詳細：赤」の「中間調を使う」のチェックを外すと、以下のように印刷されます。



「カラー調整（グラフィック）」タブの「色詳細：黒」の設定と、「カラー調整（テキスト）」タブの「色詳細：赤」の設定を合わせると、以下のように印刷されます。



※「中間調を使う」の設定は、「カラー調整（テキスト）」タブ、「カラー調整（テキスト）」タブ、「カラー調整（イメージ）」タブにあります。調整したい描画オブジェクトに従い使い分けてください。

SPEEDIA GE5000シリーズ
ユーザーズマニュアル　プリンタードライバー編
2015 年 6 月 15 日発行　第 3 版発行
カシオ計算機株式会社
〒 151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2
カシオ電子工業株式会社